

郡山市環境審議会 会議録

会議名 令和4年度第4回郡山市環境審議会
 日時 令和5年2月7日(火) 午後1時30分から午後2時30分まで
 場所 ニコニコこども館 3階 研修室
 出席者 (環境審議会委員 10名)
 難波謙二会長、市岡綾子委員、太田弘志委員、小林裕子委員、佐久間裕委員、高橋敦司委員、橋本健委員、堀井潔委員、松枝智之委員、湯浅大郎委員
 (郡山市及び事務局)
 橋本環境部長、小野環境部次長、渡辺環境政策課長、西名環境政策課課長補佐、瀧田エネルギー政策係長、鶴沼気候変動適応推進係長、新田総務管理係長、柳沼原子力災害対策係長、総務管理係柳沼主任、総務管理係塚原主査、総務管理係相田主事、気候変動適応推進係金子主査、気候変動適応推進係遠藤主査
 欠席者 (環境審議会委員 5名)
 會田久仁子副会長、菅野千恵子委員、五味馨委員、平川真理子委員、古谷博秀委員

傍聴者 0名

- 次第 1 開会
 2 議事 答申案について
 3 その他
 4 閉会

会議内容

1 開会	
2 議事 (環境審議会条例に基づき難波謙二会長が議長)	
難波会長	答申案について、事務局から説明をお願いします。
事務局	—資料により説明—
松枝委員	答申案の図について、数値目標が記載されているが、文章のどの部分を示しているのか。
事務局	数値目標の図については、前回審議した内容であり、視覚的にわかりやすいよう記載している。 答申案の文章に記載がない部分もあるため表示方法を検討する。
難波会長	図と本文を関連付けし、また数値の意味が分かるようにしてほしい。
事務局	表現について会長と協議し、調整させていただきたい。

難波会長	<p>今日は答申前の最後の審議会であるため、変更の方針について意見いただき、修正事項は会長に一任いただくこととでよいか。</p> <p>特に意見なし。</p>
松枝委員	<p>図の数値のうち、削減実績については説明してはどうか。</p>
事務局	<p>本戦略策定後の成果はあるが、図に示す数値は実績ではない。 今回の答申は中間目標の改定についてであり、国の計画改定を本市に置き換えた時の削減目標を答申案に記載しているが、表現がわかりにくいとのことであれば検討する。 図には表題をつけるなど、わかりやすく修正する。</p>
難波会長	<p>図に表題を付け、本文中にも位置付けるよう修正をお願いしたい。</p>
高橋委員	<p>答申案に日付があるが、答申の日程は決まっているのか。</p>
事務局	<p>日程が限定的であったため、事務局の希望日を記載している。</p>
湯浅委員	<p>答申を受け、現行戦略の改定版が作られるということでよいか。 現行戦略には具体的な施策方針が記載されているが、中期目標の改定に連動して細部も大きく変わるのか。</p>
事務局	<p>答申を受けたのち、改定版をウェブにて掲載する予定である。 基本的には中期目標の部分のみ改定となり、大きな変更はない。</p>
堀井委員	<p>戦略及びアクションプランの改定時期はいつになるのか。</p>
事務局	<p>戦略は、パブリックコメントを経て年度内に改定予定である。 アクションプランについては、各部局の事業との整合性をとりつつ改定するため、年度明け改定かどうかも含め時間をいただきたい。</p>
湯浅委員	<p>いかにアクションプランに落とし込めるかが重要であるため、具体的な内容を盛り込んでいただきたい。 パブリックコメントについては、様々な意見をいただくかと思うが、どの程度反映させる考えか。</p>
事務局	<p>いただいた意見の内容を踏まえて検討したいと考えている。</p>
松枝委員	<p>推進体制、進捗管理について、これまで広域圏の首長会議にて議論されているか。</p>
事務局	<p>これまでに首長レベルでの議論はない。 事務局レベルで意識を揃えるところからと考えている。環境問題は、</p>

	面的な話でもあるため、広域圏でも形になるよう努力したい。
小林委員	本文にある「事業者」とはどういう意味合いか。
事務局	一般的な企業組織体と捉えている。
難波会長	本戦略の進捗管理は、審議会の議題と位置づけするのか。または環境基本計画の一部と位置づけるのか。
事務局	本戦略でも KPI を設定しており、審議会で報告していく。
松枝委員	「市民、事業者、行政」と記載があるが、郡山市環境基本条例においては「行政、事業者、市民」の順に記載されている。整合性はどうか。順番によっては、行政主導となる等、意味が変わってくるのでは。
事務局	市民、事業者、行政は並列的な位置付けと捉えている。各主体に役割があり、さらに連携していくことが大切と考えている。 表現として条例に合わせることは問題ない。
松枝委員	「一丸」は口語的な表現であり、「一体」とすべきではないか。
事務局	現行戦略においては「各主体が連携」と表現しており、表現を合わせるかも含め検討する。 「連携」よりもまとまりがあるようなニュアンスとして「一丸」を用いた。口語的な表現は適さないとの意見であれば修正する。
湯浅委員	「一丸」はやや精神論になる印象を受けるため、「一体」としてはどうか。 「市民、事業者、行政」については、市民が先である方が読み手としては良いと思う。検討いただきたい。
小林委員	他に「一体」という表現を使っていたことで「一丸」としたというものもあるのではないか。
事務局	「一丸」は「一体」に、すでに「一体」と記載している箇所は「組織横断的に」と表現する。
佐久間委員	パブリックコメントは、全体を示すのか、改定のポイントを示すのか。全体を示す場合、読み込む必要がある。改定する部分に関する意見が重要なので、それが見えやすいようにしてほしい。
事務局	改定内容がわかりやすいように提示する。
難波会長	パブリックコメント開始のプレスリリースは行うのか。

事務局	戦略改定の際に行う。
湯浅委員	カーボンニュートラル等の施策に関して、市は意欲的に取り組んでいること、また実現可能な目標だということをアピールしてほしい。 ごみ等の課題については、意識啓発にさらに力を入れ、広く周知してほしい。
事務局	環境に関する先進的な事業については、情報発信していく。 情報発信が不十分である現状を踏まえて、SNS やマスコミの利用等、市民に理解してもらいやすいよう工夫していきたい。
松枝委員	政策統計課にて、住民基本データが公表されているが、地域ごとのごみの状況とリンクしておらず、ごみの量と生活水準の関係性について地域的分析ができないため、統計をとれる体制にしてほしい。
難波会長	次回以降、課題がある際は、審議会で分析できるよう材料を提示してほしいとの一般的な意見でよいか。 これは次回以降の審議の際にお願いする。
市岡委員	パブリックコメントはウェブで行うのか。
事務局	市のパブリックコメントはウェブ上で行うこととなっており、今回もその予定である。
市岡委員	ウェブをさらに見てもらえるよう PR すれば、意見は増えるのか。
事務局	広報こおりやまにも掲載している。他の手法についても検討する。
松枝委員	最近の広報こおりやまは情報が多く、ホームページの新着情報もすぐ埋もれてしまう。 また、3月号に間に合うのか。
事務局	3月のパブリックコメントでは年度内の改定に間に合わないため、2月号に掲載させていただいた。 SNS 等を活用し、広く意見を募る。 また、行政センターや市民サービスセンターでも閲覧可能である。
堀井委員	市民として、実際に行動に移すのは難しい。 出前講座等、対象を絞って活動をしてもらおうと、自分事として捉えやすいと感じる。
事務局	対象を絞るのも一つであり、また市民全体的な活動についてもわかりやすいようにしていく。

